

第 498 回 企業会計基準委員会議事概要

I. 日 時 2023 年 3 月 22 日（水） 13 時 30 分～16 時 30 分

II. 場 所 財務会計基準機構 会議室

III. 議 題

（審議事項）

- (1) 実務対応報告「グローバル・ミニマム課税に対応する法人税法の改正に係る税効果会計の適用に関する当面の取扱い」【公表議決】
- (2) 2023 年 3 月開催 会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）への対応
- (3) リースに関する会計基準の開発
- (4) 金融資産の減損に関する会計基準の開発
- (5) 資金決済法上の「電子決済手段」の発行・保有等に係る会計上の取扱い
- (6) 企業会計基準諮問会議からのテーマ提言への対応
- (7) 専門委員等の選退任

本企業会計基準委員会は、新型コロナウイルス感染症への対応として、一般の傍聴は Zoom ウェビナーを利用して実施した。

IV. 議事概要

（審議事項）

- (1) 実務対応報告「グローバル・ミニマム課税に対応する法人税法の改正に係る税効果会計の適用に関する当面の取扱い」【公表議決】

中條常勤委員及び加藤専門研究員より、公開草案に寄せられたコメント対応表の案、実務対応報告「グローバル・ミニマム課税に対応する法人税法の改正に係る税効果会計の適用に関する当面の取扱い」の文案（「公表にあたって」の文案を含む。）及び公開草案を再度公表する必要性の有無等に関する検討について説明がなされ、審議・採決が行われた。採決の結果、字句等の修正は委員長に一任することを前提に、また、改正法人税法の成立を条件として、出席委員全員の賛成をもって公表することが承認された。

- (2) 2023 年 3 月開催 会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）への対応

紙谷副委員長及び板橋ディレクターより、2023 年 3 月開催 会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）の各議題の概要及び対応方針について、また、議題のうち「企業結合 — 開示、のれん及び減損」については、当委員会事務局の気付事項について説明がなされ、第 132 回 ASAF 対応専門委員会（2023 年 3 月 13 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

- (3) リースに関する会計基準の開発

川西委員長及び牧野アシスタント・ディレクターより、次の事項について説明がなされ、審議が行われた。

- ① 聞かれた意見に対する検討（短期リース及び残価保証）
- ② 企業会計基準適用指針公開草案「リースに関する会計基準の適用指針（案）」（結論の背

景)の文案

③ 「コメントの募集及び本公開草案の概要」の文案

(4) 金融資産の減損に関する会計基準の開発

紙谷副委員長及び伊藤専門研究員より、ステップ2を採用する金融機関における信用減損金融資産に係る利息収益の認識、及びステップ3における信託への投資に対する予想信用損失による減損モデルの適用について説明がなされ、第197回金融商品専門委員会(2023年3月14日開催)における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

(5) 資金決済法上の「電子決済手段」の発行・保有等に係る会計上の取扱い

中條常勤委員及び村瀬アシスタント・ディレクターより、次の事項について説明がなされ、第156回実務対応専門委員会(2023年3月14日開催)における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

① 電子決済手段の期末時の評価

② キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

③ 適用時期

④ 実務対応報告公開草案「電子決済手段の発行及び保有の会計処理及び開示に関する当面の取扱い(案)」(本文)の文案

(6) 企業会計基準諮問会議からのテーマ提言への対応

紙谷副委員長及び木村(寛)専門研究員より、第497回企業会計基準委員会(2023年3月8日開催)において、企業会計基準諮問会議から当委員会に対してテーマ提言があった「パーソナルスピノフの会計処理」への対応について説明がなされ、審議が行われた。審議の結果、当委員会の新規テーマとして取り上げることが承認された。

(7) 専門委員等の選退任

川西委員長より、金融商品専門委員会、企業結合専門委員会、収益認識専門委員会、ASAF対応専門委員会及びIFRSのエンドースメントに関する作業部会の専門委員等の選退任について説明がなされ、審議が行われた。審議の結果、原案の通り承認され、委嘱等の手続きを行うこととされた。

以 上